

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)8月31日

9月号

URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』



自分で考える

校長 富田 操

今、日本中、いや世界中が、大きな不安感に包まれています。その緊張感のために、人間関係もどうしてもピリピリしてしまいがちです。前向きな態度も、この状況乗り越えようと、どうしても力が入りがちで、それはそれで、緊張が生じているような気がします。

その中で、それでも学校はやはり子どもたちの力で、ゆったりした時間が流れているような気がします。もちろん、子どもたちも緊張した日々を送っていることですが、子どもたちの話をしている姿、子どもたちの動いている姿、子どもたちの活力、を見ると「世界はまだ希望に満ちている。これから先に期待しても良いのだ。」そう感じます。

このような状況の中だからこそ、子どもはやはり世の中にとって「希望」なのだ実感します。

さて、学校も短い夏休みを終え、少しずつ通常の学校の生活・学習を取り戻しつつあります。ある担任の先生に聞いた話によると、夏休み明けに「今年の夏休みは、宿題が少なくて、いつもの夏休みより長く感じました。先生、来年の子どもたちにもそうしてやってください。」と言った子もいたそうです。

子どもたちにとって、単純に「楽しい!」と思えることが本当に少ない今日この頃ですが、千秀小の教職員はこの状況の中で「せめて楽しい授業を!」と考え、日々の授業に取り組んでいます。一人ひとりの子どもたちは、それぞれ満足する場面が少しずつ違うところもあるかもしれません。その一人ひとりに合わせて、それぞれが「楽しい!」とか「自分はがんばっている!」と思えるような、そんな楽しさを実感できる場面を少しでも、もてるように・・・そう思って準備を重ね、授業を行っています。

そして、その授業が目指すところは、学校教育目標です。

やっと、学校も本来の学校の生活・学習を取り戻しつつある中で、本年度も

学校教育目標【自分で考え 表現し 挑戦し続ける子】

の実現を目指し、全教職員で千秀小学校の教育活動に取り組んでいます。

朝会で、子どもたちに、この目標について少しずつ話をしていくつもりです。先週は、「自分で考える」ことの大切さを話しました。人から学ぶこともとても大切だし、友だちの話や先生の話から学ぶこともとても大切なこと、とした上で、「まずは自分で考えてみる」ことの大切さを話しました。「自分で考えることこそが、自分を創っていく」という話をしました。小学生にとっては、難しい話でしたが、それぞれで受けとめ考えてもらいたい、そう思います。

様々な制約のある中で、子どもたちが、本当に、けなげに毎日毎日を一生懸命生きている姿を見て、私たち教職員もそれに懸命に応えねばと思います。

どうぞ、ご家庭・地域でも、今まで通り子どもたちの毎日を支えていただけますようお願いいたします。